

平成28年度国立大学法人東京海洋大学第1回経営協議会議事要録

日 時 平成28年6月3日（金） 14時00分～16時00分

場 所 東京海洋大学白鷹館多目的スペース1（品川地区）

出席者 竹内学長、會田委員、五十嵐委員、井手委員、井上委員、荻上委員、白須委員、武藤委員、森委員、山本委員、渡辺委員、苜米地理事（兼 事務局長）、稲石理事、東海理事、宮原理事、神田学術研究院長、佐藤海洋科学部長、塚本海洋工学部長、井関海洋科学技術研究科長

オブザーバー 久保田監事

事務担当者 中里総務部長、松本財務部長、五十嵐企画評価課長
ほか事務関係者

議事に先立ち、竹内学長から挨拶があった。引き続き、新委員及び新監事の紹介があり、各人から挨拶があった。

議 事

審議事項

1 学長選考会議委員の選出について

学長から学長選考会議の構成について説明があり、審議の結果、経営協議会学外委員（国立大学法人東京海洋大学経営協議会規則第2条第1項第4号に定める委員）から次の4名を選出した。

- ・井上委員
- ・荻上委員
- ・森委員
- ・山本委員

2 平成27事業年度に係る業務実績評価及び第2期中期目標期間に係る業務実績評価について

苜米地理事から資料1-1～1-5に基づき、平成27事業年度に係る業務実績評価及び第2期中期目標期間に係る業務実績評価について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、今後、軽微な修正等が必要となった場合の対応は、学長に一任することとした。

委員からの主な意見等は次のとおり。

- ・ 取組に対する評価や結果が分かるように書き方を工夫してほしい。
- ・ 第2期中期目標期間における業務実績の達成度合いや自己評価はどのようにしているのか。
- ・ 大学として重点的に取り組んだ事項については、「ウェイト」を活用するなどしてもっ

とアピールしても良いのではないか。

- ・ 海洋大は世間が思っているよりも女性の比率が高いと思う。女性研究者支援活動も含めてもっとアピールをしてほしい。

上記の意見に対し、学長及び苫米地理事から以下のとおり説明があった。

- ・ 例えば受験要件に外部英語試験（TOEIC等）を課したことで、新入生のTOEICの点数が年々上がっている。平成28年度からは、取組に対する結果を入れていきたい。
- ・ 中期目標期間の各年度計画については、大学評価委員会が中心となり、年に2回自己評価を実施し、取組の遅れや漏れが無いように進捗状況を確認しながら進めている。
- ・ 「ウェイト」は入れていないが「進捗状況」のところで本学が力を入れた部分を主張している。
- ・ 女性の比率や、女性研究者支援活動については、今後実施予定の文部科学省とのヒアリングの際に強調したい。

3 平成27年度決算について

- (1) 平成27年度決算の概要等について
- (2) 平成27年度資金管理実績について
- (3) 平成27年度目的積立金使用状況について
- (4) 平成27事業年度財務諸表等について

苫米地理事及び財務部長から、資料2-1～2-8に基づき、平成27年度決算の概要等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

委員からの主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 平成25年度の外部資金の受入が大きく増加しているのは、特殊要因があったのか。
- ・ 平成27年度の学生納付金収益が平成26年度に比べマイナスということは、実際に入学した学生が減ったということか。

上記の意見に対し、東海理事及び財務部長から以下のとおり説明があった。

- ・ 東日本大震災の復興関連資金を多く獲得したことが特殊要因と言える。
- ・ 学生納付金の減額の要因については、次回の経営協議会で報告したい。

4 平成29年度概算要求について

苫米地理事から資料3に基づき、平成29年度概算要求について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、重点順位等については、学長に一任することとした。

委員からの主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 設置申請中の新学部配慮した予算要求になっているか。

上記の意見に対し、苫米地理事から以下のとおり説明があった。

- ・ 要求項目の中にいくつか新学部と連携しているものがある。順位付けはそれらを優先したいと考えている。また、新学部に関するものについては別に立てて、要求することも検討している。

5 設備マスタープランについて

苫米地理事及び財務部長から資料4に基づき、設備マスタープランについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

6 東京海洋大学検定料免除規則の制定について

稲石理事から資料5に基づき、東京海洋大学検定料免除規則の制定について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

○総務・財務

1 新学部設置等に係る広報工程表について

学長から資料6に基づき、新学部設置等に係る広報工程表について報告があった。

委員からの主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 新学部の入学生も4年後には就職する。早い段階で卒業後の職場を確保することも大事ではないか。
- ・ 東京駅と羽田空港に看板を出したということであるが、品川駅はどうなっているか。以前は設置していたように思う。

上記の意見に対し、神田副学長から次のように説明があった。

- ・ キャリア教育、将来の自己設計等、短期的なことを超えて人生をどう生きるかということが非常に重要であると言われている。新学部にもキャリア教育の科目を予定しており、その中で卒業生の意見を聞く機会を設けてもらうことなどで同窓会の協力を得たいと考えている。
- ・ 品川駅には、効果や予算面などの理由で現在は出していない。

2 平成28年度国立大学法人施設整備費補助金（国立大学改革基盤強化促進費）の要求設備について

苫米地理事から資料7-1～7-2に基づき、平成28年5月23日付けで平成28年度国立大学法人施設整備費補助金（国立大学改革基盤強化促進費）の要望調書を文部科学省に提出したことについて報告があった。

○その他

1 第2期中期目標・中期計画期間における経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況について

学長から資料8に基づき、第2期中期目標・中期計画期間における経営協議会学外委員からの意見に対する最新の対応状況について報告があった。

委員からの主な意見等は、以下のとおり。

- ・ 大学の評価などをする際に評価者は、どういう意見に対してどういう対応をしているかという資料は必ず見る。このような資料は大学のホームページでわかりやすい場所に掲載してほしい。

上記の意見に対し、学長から次のように説明があった。

- ・ 掲載については早急に対応したい。

2 平成28年度経営協議会の開催日程について

学長から資料9に基づき、平成28年度経営協議会の開催日程について報告があった。

3 その他

その他全般的な事項について意見交換を行った。

委員からの主な意見等は次のとおり

- ・ 明治丸はリニューアル一般公開後、年間約7200人が見学に来ている。今年の7月には附属する記念館もオープンする。土日に見学できるようにするなど、さらに大勢の方に見てもらえる工夫をしてほしい。
- ・ 国家にとって海洋人材の育成というのは本当に大事な事柄である。本学は日本のトップランナーとして最先端を走っているということを大学として自覚しなくてはいけない。先日総理大臣に海洋政策に関わる意見書を手渡した際、本学の名前を連呼して来た。新学部などについてはあらゆる機会にアピールしてほしい。

上記の意見に対し、稲石理事及び学長から以下のとおり説明があった。

- ・ 土日の見学者の希望が多いということは知っている。今後努力していきたい。
- ・ 経営協議会の学外委員には本学の広報活動の前面に立っていただきたい。

以上

配付資料

- 国立大学法人東京海洋大学経営協議会名簿
- 平成27年度第5回経営協議会議事要録
- 資料1-1 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書(案) 概要
- 資料1-2 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書(案)
- 資料1-3 中期目標の達成状況報告書(案)
- 資料1-4 学部・研究科等の現況調査表(教育)(案)
- 資料1-5 学部・研究科等の現況調査表(研究)(案)
- 資料2-1 平成27年度決算の概要
- 資料2-2 平成27年度資金繰実績報告
- 資料2-3 平成27年度目的積立金使用状況報告
- 資料2-4 平成27事業年度財務諸表
- 資料2-5 平成27年度決算報告書
- 資料2-6 平成27年度事業報告書
- 資料2-7 独立監査人の監査報告書
- 資料2-8 監事監査報告
- 資料3 平成29年度概算要求事項について
- 資料4 設備マスタープランについて 他
- 資料5 東京海洋大学検定料免除規則の制定について(案)
- 資料6 新学部設置等に係る広報工程表
- 資料7-1 平成28年度国立大学改革基盤強化促進費 要望一覧
- 資料7-2 平成28年度国立大学法人施設整備費補助金(国立大学改革基盤強化促進費)関係資料の提出について(依頼)
- 資料8 第2期中期目標・中期計画期間における経営協議会学外委員からの意見と本学の対応状況
- 資料9 平成28年度経営協議会開催日程